

## ～夏は受験を制するというが制することはできたのかな？

先週、第2回ベネッセ・駿台記述模試のテーターが返ってきましたが、その結果は残念ながら散々でした。この模試では数学、理科などの問題の大半は教科書例題レベルがきちんと解答できたら偏差値が50を下回ることはないと言われている先生方から聞いています。

まずは、個人成績表と返却答案を手元に置いて現状の把握をお願いします。もちろん、このテーターはあくまで業者が作成した問題についてのものであり、1ヶ月前に実施されたものです。模試の目的は受験日時点の受験学力を測定し、結果を各自で十分に分析・検証し、足りない部分を潰すことにあります。君たちは模試に限らず、色々な事にとっても素直に取り組んでいて、好感が持てますが、**大学入学者選抜は競争試験であり、とても厳しい試験**です。本番で合格を掴み取るために君たち自身が**もっともがき、苦しみ、頭と手を必死に動かす必要がありますが、現状は、全然足りてません**。受験直前期なのに緊張感は薄く、昼休みなどの休み時間も教室は私語で賑わっていますが、**学習量は本当に足りていると心の底から思っていますか？**スカートや膝丈を短くするなど服装指導で注意される生徒が未だにいますが、校則を破ることが学校に来る目的ですか？なりふり構わずやる時期に身なりを気にする時間がどこにあるのですか？いずれにしても、受験の厳しさを十分に教育できていない我々の指導力不足を今さらながら痛感しています。**このままでと思うような受験結果を残せず、将来に向けて自分のやりたいことができない状況になります**。西高に入学して以来、**過ごした時間は何だったのだ？と君たちをがっかりさせることになり**ます。それを回避するために、厳しく追い込んでいこうと考えています。君たちも**もっと自分たちの現状に危機感を持ち、全ての授業に集中し、学習量を増やし、カリカリ鉛筆を動かしながら必死に自学自習に取り組んでください**。学習量が絶対的に不足しています！

ただ、先輩達の多くは最後まで目標に向かって諦めず粘り強く取り組むことができ、しかも共通テストまで振るわなくても2月以降の一般選抜で逆転合格を勝ち取ってきた例を沢山見せてもらっています。この時期から伸びるのが西高生の良き伝統だと私は信じていますので、君たちも自分の伸びしろを信じて、**基礎・基本に特化した学習に取り組んでください**。もちろん、**重要なツールは教科書と授業**です！

もう少し具体的な話をしておきたいと思いますが、最近の受験生を見て改めて感じていることは受験を通して「**自己教育力**」を向上させた生徒が志望校に合格し、卒業後もしっかりと活躍できているという点です。だから、その中でひとまず「**自学自習力を向上させる**」ことを受験生には目指して欲しいと思います。受験生である君たちは、スマホからきっちり距離をおいていますよね？西高生からも家庭ではスマホなどの誘惑が多く、自学自習の習慣が身につくのが難しいという声をよく聞きます。そこで、自習教室として旭陵館を平日だけでなく土日も開放しています。是非、そこも十分に活用しながら自学自習力を身につけ、「**自分で自分を教育できる**」高校生として卒業して欲しいと思います。また、自習について失敗した先輩の事例を二つ紹介したいと思います。一つ目は受験直前までずっと単語帳を眺める作業的な学習ばかりしている生徒がいますが、その場合、受験学力はほとんど伸びません。二つ目は質問をする生徒が賢い生徒だといつも言っていますが、これには少々、危険があり、職員室周辺などでだらだらと長時間の質問をしている生徒がいますが、それが典型です。このような生徒はメモも取らずに、ただ頷いて聞いているだけの場合が多く、これも受験学力は身につけません。その場で話を聞いているだけでは不十分で、その後の復習が重要です。自力のできるまで復習しないと受験会場で同じ内容の出題があったら間違いなく解答できません。さらに、自分で作図などをしながら手を動かす生徒が非常に少ないのも気になります。

では、今さらかもしれませんが、授業と自学自習の関係をどのように捉えていけばよいのか、教科の特性はありますし、特に適当な学習方法については個人差がありますが、私の担当科目である地理を例にアドバイスをしたいと思います。地理では最初に地形、気候、植生、土壌などの自然環境を中心に基本的な事象について**因果関係を意識**し、作図を加えながら**早口で説明**していきます。多少不消化になったとしても、**スピードをつけて説明しないと本番の試験時間に対応できる脳はできません**。ゆっくり丁寧な説明はケースバイケースでは必要ですが、通常はハイスピードです。もちろん、授業中にペアワークや発問、**音読学習**を取り入れながら君たちにもどんどん**アウトプット**を促します。**アウトプットをすることで自分の理解度を確認**できます。西高生の中に間違いを恐れて「わかりません」を連発し、音読の声が蚊の鳴き声よりも小さい生徒がいますが、**沢山間違えないと学力は向上しません**。特に個別大学入試の合格者の得点率は60%以下が多く、言い換えると誰も解答できないような難問も場合によっては含まれています。実は解答に取りかかる際に、どの問題を捨てるか、間違えるか、後回しにするかの判断をすることも重要です。ちなみに昨年度、東京大学個別入試の地歴の合格者平均得点率は59%です。40%以上は間違えても合格の平均点には到達します。そして、それぞれの**基本知識が孤立しないように関連づけながら土台作り**をしていきます。**地理は関係認識が深まると格段に面白くなる学問なので、有機的な知識体系を作ることを目指します**。

11月からはさらにペースを上げ、授業の半分を樹形図や、フローチャート、地図を活用しての知識整理や構造化に向けた学習に、残りの半分を共通テストの過去問や東大、京大、北大、名大など、国立大学

個別入試の過去問を自力で解答し、発問しながら解説する学習に取り組むようにしています。共通テスト対策だからといって客観式の問題ばかりに取り組んでいたら、基礎学力が落ちる場合があるので記述式、論述式にも取り組みます。あとは授業の内容について復習していけば共通テストで75点以上はきちんと取れます。このスコアが確保できれば地理は十分です。個別の質問については、君たちが**「あ、そうなんだ！」**とか**「納得しました」**という反応があるまで付き合いますが、**できるだけ短い時間で終わるように**します。さらに、知識が分断しないように注意していけば、君たちが自動的に知識と知識、経験と知識を繋げています。この有機的な学習は他の教科でも重要で、有機的に学習する習慣をつけないと、例えば国立大学における個別試験の「自由英作文」や数学の「融合問題」に手が全く出ず、不合格という悲劇が待っています。また、全体的に気になっていることのひとつが、西高生は具体化に比べて抽象化への意識が低い点です。図などを書けばどうにかなるものは得意ですが、抽象的理解を伴うものに対しては早い段階で諦める生徒がかなり多く危険です。だから、この件に思い当たる生徒は抽象的なものはスモールステップで考え、一つずつ時間をかけて具体的な理解に努めること、そして、感情的に捉えるのではなく焦らず論理的、分析的に捉える習慣をつけることが大切です。また、樹形図などを上手く活用して知識の階層化、構造化を図ることも有効だと思います。例えば、地理を例にとると、地形では大地形と小地形に分類、そのうち、大地形はプレート学習、地体構造に分類、小地形は平野地形、海岸地形に分類という具合に細かく、何度も意識しながら樹形図を作ることで、今、自分が何を学習しているか、立位置を可視化、意識化できます。それがきちんとできると、入試で地形関係の問いに出会った時に、スピーディーに問われたテーマと自学自習した内容が繋がります。国立大学の個別試験の地理の場合、問作者がほぼ特定できるので、解答中に出题者の顔が浮かんだり、西高の先生方の声が聞こえたりすると思います。ある程度はそのレベルに近づかないと本番の解答時間も短いので合格点まで届かないと思います。以上、かなり理解が難しい内容も含んでいたかもしれませんが、確固たる基礎学力の定着を図り、「本物の学問の世界」へ飛び立ってください。以上です。

裏面に第2回駿台・ベネッセ模試の結果について、国語、数学Ⅰ、数学Ⅱ、英語について、小問別の校内平均得点率と全国平均得点率を提示しますので必ず読んでください。

<国語>

大問名	小問名	校内 平均得点率	全国 平均得点率	大問名	小問名	校内 平均得点率	全国 平均得点率
1. 現代文 論理的文章	<b>1-a</b>	85.0%	<b>85.0%</b>	3. 古文	1-a	53.3%	53.3%
	<b>1-b</b>	65.0%	<b>65.0%</b>		1-b	60.0%	56.7%
	<b>1-c</b>	70.0%	<b>75.0%</b>		2-i	50.0%	50.0%
	1-d	60.0%	55.0%		2-ii	55.0%	55.0%
	<b>2</b>	83.3%	<b>76.7%</b>		2-iii	40.0%	40.0%
	3	31.0%	35.0%		3	14.0%	17.0%
	4	46.0%	45.0%		4	28.7%	26.3%
	5	48.3%	45.0%		5	10.0%	10.0%
2. 現代文 文学的文章	<b>1-a</b>	95.0%	<b>95.0%</b>	4. 漢文	6	42.5%	38.8%
	1-b	60.0%	55.0%		7	36.3%	36.3%
	1-c	35.0%	35.0%		1-a	40.0%	40.0%
	<b>2</b>	75.0%	<b>75.0%</b>		1-b	15.0%	20.0%
	3	30.0%	28.9%		2	38.8%	35.0%
	<b>4</b>	93.3%	<b>86.7%</b>		3	30.0%	35.0%
	5	36.9%	34.6%		4	60.0%	53.0%
			5	45.0%	41.7%		
			6	53.3%	53.3%		

<数学Y>

大問名	小問名	校内 平均得点率	全国 平均得点率	大問名	小問名	校内 平均得点率	全国 平均得点率
1. 場合の数と 確率	<b>1</b>	52.0%	<b>70.0%</b>	4. 図形と 方程式	1	39.2%	49.2%
	2	44.0%	56.7%		2	7.8%	10.6%
2. 三角関数	1	64.0%	55.0%		3	3.5%	3.5%
	2	37.3%	36.7%	<b>1</b>	68.3%	<b>80.0%</b>	
3. 微分法 積分法	<b>1</b>	86.4%	<b>75.0%</b>	5. 数列	2	21.1%	21.1%
	2	61.7%	46.7%		3	0.0%	2.5%
	3	19.4%	16.1%		<b>1</b>	89.2%	<b>79.2%</b>
			6. 平面 ベクトル	2	50.6%	47.2%	
				3	15.5%	9.5%	

<数学Z>

大問名	小問名	校内 平均得点率	全国 平均得点率	大問名	小問名	校内 平均得点率	全国 平均得点率
1. 場合の数と 確率	<b>1</b>	67.5%	<b>73.8%</b>	5. 数列の極限	<b>1</b>	48.8%	<b>61.3%</b>
	<b>2</b>	47.5%	<b>60.8%</b>		2	20.8%	32.5%
2. 複素数と 方程式	<b>1</b>	86.3%	<b>88.8%</b>		3	4.0%	14.0%
	2	28.3%	36.7%	<b>1</b>	66.3%	<b>72.5%</b>	
3. 微分法 積分法(III)	<b>1</b>	78.8%	<b>78.8%</b>	6. 空間 ベクトル	2	28.6%	40.0%
	2	57.1%	54.3%		3	10.0%	15.0%
	3	32.2%	31.7%		<b>1</b>	71.3%	<b>78.8%</b>
4. 図形と方程式	1	24.3%	25.8%	7. 複素数平面	2	10.0%	30.7%
					3	0.0%	5.6%

<英語>

大問名	小問名	校内 平均得点率	全国 平均得点率	大問名	小問名	校内 平均得点率	全国 平均得点率	
1. リスニング	1-1	60.0%	55.0%	5. 下線部和訳	A	35.0%	35.0%	
	1-2	60.0%	55.0%		B	45.3%	41.3%	
	<b>2-1</b>	66.7%	<b>63.3%</b>	6. 大意要約	1	13.8%	16.3%	
	<b>2-2</b>	63.3%	<b>60.0%</b>	7. 文法 語彙語法	A-1	35.0%	40.0%	
	2-3	36.7%	40.0%		A-2	60.0%	55.0%	
	<b>3-1</b>	70.0%	<b>70.0%</b>		A-3	30.0%	30.0%	
	3-2	43.3%	43.3%		A-4	25.0%	20.0%	
	<b>3-3</b>	60.0%	<b>60.0%</b>		B-1	33.3%	33.3%	
	4-1-ア	0.0%	0.0%		<b>B-2</b>	66.7%	<b>63.3%</b>	
	4-1-イ	30.0%	30.0%		B-3	26.7%	26.7%	
4-2	27.5%	30.0%	C-1		53.3%	53.3%		
3. 長文読解	1	20.0%	22.0%		8. 表現力 英作文	C-2	63.3%	56.7%
	2	34.0%	28.0%			C-3	36.7%	40.0%
	<b>3</b>	86.0%	<b>76.0%</b>	A-ア		32.5%	28.7%	
	4	48.0%	42.0%	A-イ	48.0%	39.0%		
	5	66.0%	56.0%	B	38.3%	30.0%		
	6	58.0%	48.0%					
	7	31.4%	27.1%					
4. 長文読解	1	35.0%	27.5%					
	2	34.0%	38.0%					
	3	28.0%	32.0%					
	4	11.3%	11.3%					
	5	48.0%	48.0%					
	6	30.0%	26.0%					

以上です。

小問別の校内平均得点率が全国平均得点率を5%以上上回った問いには濃い網掛けを、校内平均得点率が全国平均得点率を下回った問いには薄い網掛けをしています。全国平均得点率が60%以上の問いは太字でしめしています。今週中に問題冊子と解答解説冊子と採点済みの解答用紙を手元に置き、少なくとも得点率が高い問題で正解できなかった問いについては、復習を十分に行い、もし次に会ったら絶対に間違わないようにしておいてください。これが現在の厳しい状況から脱却する第1歩だと思いますので必ず実践してください。

(進路指導部・松村)